いけないという状況にございます。思い切った予算が取れるかどうかということは、全体的なバランスの中で見ていかなければなりませんので、なかなか難しい。ただ、できる限り、ご要望が満たされるようにやっていかなければいけないとは考えております。

●木戸川の災害復旧工事について

Q　木戸川の災害復旧工事の進捗状況はどうか。

A　都市建設部長　緑海橋から上流については、既に工事は完了しております。産業道路から海岸に向かって、5工区に分かれて、工事は進められております。そのうち9月に終了するもの、11月に終了するものと最終的には、産業道路から下につきましては、平成25年1月で完了するという予定です。堤体の高さは、3メートルから1メートル高くしております。

Q　緑海橋から上流は完了しているというが、堤防の嵩上げはされたのか。

A　都市建設部長　緑海橋から上流につきましては、現状復旧ということで、特に嵩上げ等をしてあるということではありません。

Q　今後、緑海橋から上流堤防の嵩上げ工事の計画はあるのか。

A　都市建設部長　緑海橋から木戸橋については、県において、現況の測量が終わっております。今後、津波のシミュレーション等により、どのように対応するかということで、現在、検討しているときいております。

一般質問の内容は、各議員から提出された原稿をそのまま掲載しました。

※詳しくは、図書館又はインターネットで会議録が検索・閲覧できます。（発行は後日）

防災・復興対策特別委員会視察研修

平成24年10月11日㈭～12日㈮に、防災・復興対策特別委員会の視察研修を行いました。

今回の視察は、東日本大震災からの復興に向けた取り組み状況や復興に際しての課題および被災者支援について研修することを目的に、茨城県北茨城市と宮城県名取市に行ってきました。

北茨城市は、東日本大震災により、死者10人（関連死を含む）、行方不明者1人、負傷者186人、家屋等の被害8千506戸の他、公共施設などにも甚大な被害をうけ、ピーク時の避難者は5千人を超えたということでした。

北茨城市での研修の様子

名取市はさらに被害が大きく、死者1千817人、行方不明者42人、建物被害1万6千796棟、ピーク時の避難者は1万1千人を超えたそうです。

また、名取市は市域の28％が津波により浸水し、海岸に近い閖上地区は、5千人規模の市街地が津波により壊滅したとのことでした。

両市の復興に向けた取り組みとしては、国から交付される復興交付金を財源として、様々な事業展開を計画しています。

特に、名取市の閖上地区は、土地区画整理事業により、復興まちづくりを進めています。

いずれの市も、復興に向けて力強く取り組んでいる様子がうかがえました。

名取市役所にて

第4回定例会（予定）

11月27日㈫　開会
11月29日㈭　一般質問
11月30日㈮　一般質問
12月3日㈪　一般質問、議案質疑、委員会付託
12月5日㈬　総務常任委員会
12月6日㈭　文教厚生常任委員会
12月14日㈮　経済建設常任委員会
12月14日㈮　閉会

※日程は変更になることがあります。

編集後記

今回の議会だよりは、平成24年9月に行われた第3回定例会について編集をいたしました。

議会だより編集委員会は、より読みやすい議会だよりづくりに取り組んでいます。

皆さんのご意見・ご感想をお聞かせください。

議会だより編集委員会

委員長　越川　哲
副委員長　蕨　眞
委員　大塚　重忠
委員　本山　英子
委員　髙橋　忠
委員　小川　良一

議会を傍聴してみてはいかがですか。
住所・氏名・年齢を記入するだけの簡単な手続きで傍聴できます。常任委員会も傍聴することができます。

発行／山武市議会　編集／議会だより編集委員会　ホームページ　http://www.city.sammu.lg.jp/
〒289-1392　千葉県山武市殿台296番地　電話 0475（80）1231　FAX 0475（80）1233